

## 上宮寺通信

第二十一号

## 相手の身になる

コロナ禍で淡々と月日だけが過ぎていくような感じですが、早いもので今月は「お彼岸」をお迎えします。

昨年、ドラマ「半沢直樹」が大ヒットしました。「やられたらやり返す。倍返しだ!」と、相手の悪事を暴き完膚なきまでにやっつける。勧善懲悪で気持ちよく、私も楽しみに見ていました。ただ、現実社会も同じような傾向になっているのではないのでしょうか。

先月、東京オリンピック組織委員会の森喜朗会長が女性蔑視発言で辞任となりました。この発言自体は非難されてもおかし

くないと思います。

しかし、それとともに森元会長に向けられた人格をも否定するような攻撃的なコメントなどは気持ちのいいものではなく、もし自分が同じような目に遭ったらと思うと怖い気がします。

こんな話を聞いたことがあります。ある先生のところ、中学生の息子を育てる母子家庭の母親が相談に來られました。母親は毎日忙しく、ろくに買い物も行けず、息子にカツオ節をふりかけただけの弁当を持たせたそうです。しかも、それが三日も続いてしまった。とうとう三日目に息子が「俺は猫の子じゃないぞ!」と弁当を放りだして出て行ってしまったそうです。

母親は悪いとは思いますが

も、事情を理解してくれない息子に腹が立って仕方ない。なぜこの苦勞を息子はわかってくれないのだと愚痴をこぼしたのです。

先生は「あなたは間違ったことはしていないと言っけど、息子の身になって考えたことはあるのか。教室で人に見られないように隠しながら弁当を食べる息子のことを考えたことはあるのか」と言われたそうです。

そこで母親ははっと気がついた。そして息子に「私が悪かった。教室で食べるのは恥ずかしかつただろうね」と頭を下げた。息子も「母さんの苦勞はよくわかつてる。俺も言い過ぎた」と。

次の日からお弁当が豪華になった、ということはありません。カツオ節の弁当しか作れない日

もあった。けれども、息子が弁当を放り投げる日はなかったという事です。

自分の正しさだけを主張するのではなく、相手の身にもなつて考える。私たちは「煩惱具足の凡夫」です。間違いもするし、失敗もします。お互いに頭が下がる世界に出会ったならばぶつかることはないのです。

「お彼岸」は私たちの姿を見つめるよい機会です。



◆行事案内

上宮寺の行事

3月8日(月)

春のお彼岸・永代経法要

時間：午前10時～

法要 引き続き 法話

(正午頃終了予定)

法話：林 祥眞師(一宮市禮讃寺)

※ご参詣の際はマスクの着用をお願いいたします。

※午後の法要、お斎、呈茶はございません。

※緊急事態宣言の延長、再発出など感染状況が悪化した場合は、内勤め(参詣者なし)の法要にさせていただきます。



◆話題あれこれ

○上記のように「春のお彼岸・永代経法要」をお勤めいたします。午前だけの法要ですが法話もあります。皆様とともに法縁にお会いしたいと思いますので、ぜひご参詣ください。

○昨年に引き続き、住職、前住職が演奏者として出ていました東照宮舞楽祭(4月16日)が中止となりました。このコロナ禍で雅楽演奏の稽古自体が行えず、10月の演奏会までも危うい状況となっております。雅楽に限らず伝統行事、文化の衰退が心配されます。

○医療従事者へのワクチン接種が始まりました。4月からはま

○早いもので今月はお彼岸(3月17日から23日まで)を迎えます。そのころには桜の便りも聞こえてくるでしょう。ただ、にぎやかにお花見というわけにはいかないのが悲しいところです。

○仏事についてわからないことがありましたら、何でもご相談ください。

○季節の変わり目です。体調には十分お気をつけください。

【雑感】

昨年は中止となった「センバツ」高校野球が、今年はプラスバンドの禁止などの制約があるものの、なんとか開催されるようです。愛知県からは中京大京高校が出場します。昨年は優勝候補に挙げられながらの中止。悔しい思いをしたと思うので、出られなかった先輩の分まで甲子園の大舞台で躍動してほしいものです。それとともにプロ野球もまもなく開幕。ドラゴンズも若手選手がどんどん出てきそうに期待が持てます。まさに球春ですね。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547